

平成31年度「命の大切さを学ぶ教室」の開催校を募集！！

～ 次世代を担う中学生・高校生等を対象にした被害者遺族の講演 ～



1 開催目的

- 被害者遺族が直接生徒に語りかけることで、
- 被害者が犯罪等から受けた様々な痛み、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を望む被害者の思い等への理解を求める。
 - 被害者への配慮や被害者支援に協力する意識を涵養する。
 - 規範意識の向上を図る。

2 教室の概要

- ① 実施時間…1時限(約50分)程度
- ② 実施内容
 - ◇ 犯罪被害者遺族等による講演
 - ◇ 公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター職員による講話
 - ◇ アンケートの実施

3 開催状況(過去5年)

- ◇26年度…19回(大学等3校、高校11校、中学6校)
- ◇27年度…16回(大学3校、高校5校、中学等8校)
- ◇28年度…10回(大学2校、高校3校、中学5校)
- ◇29年度…12回(大学1校、高校7校、中学4校)
- ◇30年度…12回(大学1校、高校8校、中学3校)

4 平成30年度のアンケート集計結果

- (H31.2月末現在 回答者:3333人)
- ◇「被害者や遺族の人たちは大変な思いをしていると思った」 99.4%
 - ◇「事件や事故を起こしてはならないと思った」 99.4%
 - ◇「命を大切にしなければならないと思った」 98.9%
 - ◇「犯罪の被害に遭った人たちの支援は必要だと思った」 97.8%
- 【アンケート自由感想】
- 自分や他人の命を大切にしないといけないと改めて思った。
 - 生きていること、大切な人がいることに感謝し、今を精一杯生きなければいけないと思った。
 - 被害者を増やさないために事件や事故を起こしてはいけないと思った。

5 平成31年度開催校の募集について

三重県警察では、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターとの共催で、「命の大切さを学ぶ教室」を実施するため、開催校を募集します。



- 命の大切さを学ぶ教室は、生徒たちに
- ◇「社会のルールを守っていたら助かる命があること」
 - ◇「自分の命も他人の命も大切にすることの重要性」を理解していただける良い機会です。
- 開催についてのお問い合わせなど、まずは被害者支援室までご連絡ください。

6 主な講師の紹介

- 交通事故被害者遺族
 - ・「いのちの言葉プロジェクト」代表
 - ・公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター顧問【プロフィール】

平成9年に、当時高校2年生の息子さんを、帰宅途中の横断歩道で交通事故で亡くされたことをきっかけに、自ら命の大切さを訴える「いのちの言葉プロジェクト」を主催し、県内の大学生と共に人形劇を上演するなどの啓発活動を行っている。
- 交通事故被害者遺族
 - ・自助グループ「あいち交通犯罪ゼロの会」代表
 - ・心理カウンセラー【プロフィール】

平成17年に、当時中学1年生の娘さんが部活動の応援のために外出し、信号待ちをしていた際に交通事故に巻き込まれ死亡したことをきっかけに「あいち交通犯罪ゼロの会」を立ち上げ、二度と悲しみを増やさないようにと講演活動等を行っている。
- 少年事件被害者遺族
 - ・「少年犯罪被害当事者の会」代表【プロフィール】

平成8年11月、当時高校1年生だった長男を文化祭に来た他校の生徒の集団暴力により亡くす。
平成9年に同じような境遇の家族と共に「少年犯罪被害当事者の会」を結成し、被害者にも加害者にもしない社会づくりを目的に、活動を行っている。

7 第9回「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」応募作品の募集

平成30年10月1日から平成31年9月30日までの間に開催した「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中学生高校生を対象に、警察庁主催の全国作文コンクールに応募する作文を募集します。
応募作品の中から選出した優秀作品を三重県代表作品として、同コンクールに応募いたします。

※第8回全国作文コンクール応募結果※
警察庁主催の第8回全国作文コンクールにおいて、県立名張高校2年生の方の作文が、警察庁長官官房審議官賞を受賞しました。



【担当】

〒514-8514
三重県津市栄町1丁目100番地
三重県警察本部警務部広聴広報課被害者支援室
☎ 059-222-0110(内線2923、2924)

(共催)

〒514-0004
三重県津市栄町1丁目891番地
公益社団法人
みえ犯罪被害者総合支援センター
☎ 059-213-8211



(後援)

三重県教育委員会